



一般質問

近藤 和義 議員

特定国境離島特別措置法 コシ仮渡金大幅減額対策

【質問】 特定国境離島の整備

や振興に関する特別措置法案が来年の通常国会に提出される見通しとなったが、この特措法が成立すればこれを活用して早期に佐渡空港整備（2000メートル）と港湾整備（水深10〜12メートル）を実現して市民の安全確保と本市の振興が期待できるので、強く国に働きかけるべきではないか。

【総合政策監】

これが成立した場合、この特定国境離島に佐渡も現段階で含まれており、自衛隊の利用のため空港・港湾等整備に沖縄特措法並みの高上措置となるので佐渡の振興に役立つ。防衛省または米軍の空港でも民間が利用できる共用空港は国内8空港ある。

【市長】 全国離島振興協議会の総会に諮ってこまできた

ので、是非実現させたい。

【質問】 本年産の佐渡米は過去最低価格になり、民主党政権時に施行した戸別所得補償制度も交付金額が半減し平成30年産米以降は廃止される。県内30市町村中で最も専業農家割合が大きな本市農業にとって壊滅的打撃だが対策を問う。

【市長】 認定農業者などが加入できる国の収入減少影響緩和対策があるが、平成26年に限って直接支払い加入者であれば国負担額の半額が補填されるし、佐渡版所得補償もある。

特定国境離島への指定が想定されている離島



県柏崎地域振興局 石川課長に説明を受けて、柏崎港（建設時水深10m・中越沖地震で有効活用）を視察
平成26年8月28日



イラク人道復興支援で活躍した8,900トンの「輸送艦おすみ」が佐渡には着岸できなかった



決算審査特別委員会を設置しました

平成25年度の市の決算認定の案件について、決算審査特別委員会を設置して審査することに決定しました。

主に12月定例会までの閉会中に約2週間の審査が行われ、12月定例会の最終日に本会議で採決される予定です。

猪股文彦	佐藤孝	中村良夫	笠井正信	駒形信雄	荒井眞理	委員	渡辺慎一	副委員長	村川四郎	委員長	定数
											8

よろしくお願ひします。



委員会審査経過

9月定例会における、各常任委員会の審査経過を報告します。

総務文教常任委員会

当委員会では、1件が否決、残りの案件については原案どおり可決しました。委員会における主な審査経過について報告します。

平成26年度佐渡市一般会計補正予算(第5号)について

議案第97号として執行部から提案された一般会計補正予算(第5号)は、願地区の小規模補助治山工事の事業費がいまいであるとの指摘を受け、否決されました。

執行部は議案第97号を撤回し、願地区小規模補助治山工事分の予算を削除して議案第127号として再提案したいとの申し出があり、議員全員協議会及び議会運営委員会を経て、当委員会が審査した結果、賛成多数で可決されました。

また、この混乱により、佐渡市特別職の職員の給与の減額に

関する条例の制定については、他市の状況も踏まえて、市長、副市長の処分を再検討するよう否決となりました。

市民厚生常任委員会

市民厚生常任委員会に付託された議案は、「子ども・子育て支援制度」による、保育事業と放課後の児童健全育成事業の4条例と、病院、歌代の里、すこやか両津、介護、後期高齢者医療、国民健康保険、一般会計の7補正予算です。この中で特に重視すべきものに意見をつけました。

意見を付けたものは、旧後山小学校校舎を無償譲渡して、「3介護事業」を公募で行う事業について、注意深く契約することと意見をつけました。

また、金井地区統合保育園の建設位置について、河川氾濫に伴う「浸水想定区域」であり、保護者の理解が得られるよう配

意されたいと意見をつけました。

債務負担事業についても、「佐渡、両津、南佐渡のクリーンセンター管理業務委託料52億2720万円について」、「10年間の委託事業であり、将来に禍根を残さないこと。行政職員の扱いに混乱を起こさないように」と意見をつけました。

この外、「手話言語法」の制定を求める請願。「軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準」を求める陳情を採択して、国に意見書を上げました。

産業建設常任委員会

当委員会では、全ての案件について原案どおり可決しました。委員会における主な審査経過について報告します。

平成26年度一般会計補正予算(第5号)の予備審査について

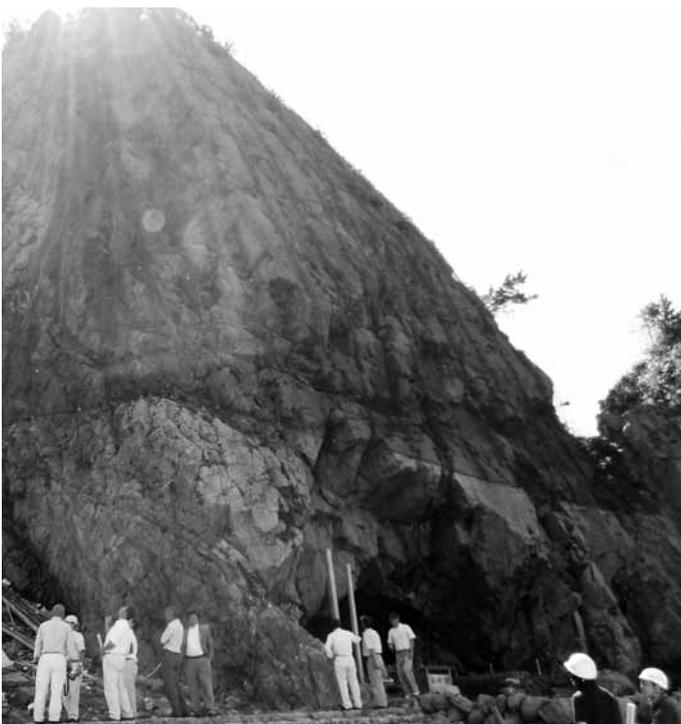
一般会計補正予算において、当委員会が所管する予算につい

て審査を行いました。

審査の中心となったのは、願地区小規模治山工事における不適切な事務処理の精算経費についてであります。

本事案は、平成25年度の県単独治山補助事業として願地区賽の河原付近の落石防止網かけ工事において増工となった工事費を担当職員が架空の契約書を作成し、他の予算から流用して支出するという不適切な事務処理を行ったものであります。審査において、予算計上の根

拠としていた業者の見積書のほかに、当該経費が適正か検証するため市の積算結果も提示されたものの、金額に相違があることが明らかとなり、委員会として「このような不正事案は、絶対あってはならないことであり、再発防止に万全を期すこと」等の意見をつけました。これを受けて総務文教常任委員会では補正予算全てが否決となり、その後執行部は、この予算案を撤回しました。



願地区小規模治山工事現場を視察

議案等（審議結果）一覧

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

議案の番号	件名	審議結果
議案第 84 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 26 年度佐渡市一般会計補正予算（第 4 号）について）	◎
議案第 85 号	佐渡市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	○
議案第 86 号	佐渡市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
議案第 87 号	佐渡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○
議案第 88 号	佐渡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○
議案第 89 号	佐渡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○
議案第 90 号	佐渡市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
議案第 91 号	佐渡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第 92 号	佐渡市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	◎
議案第 93 号	公有水面埋立てに係る意見について（稲鯨地内）	◎
議案第 94 号	財産の無償譲渡について（旧金井吉井小学校）	○
議案第 95 号	財産の無償譲渡について（旧後山小学校校舎）	◎
議案第 96 号	財産の処分について（堀記念ビル）	○
議案第 97 号	平成 26 年度佐渡市一般会計補正予算（第 5 号）について	撤回
議案第 98 号	平成 26 年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について	◎
議案第 99 号	平成 26 年度佐渡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について	◎
議案第 100 号	平成 26 年度佐渡市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について	◎
議案第 101 号	平成 26 年度佐渡市簡易水道特別会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 102 号	平成 26 年度佐渡市下水道特別会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 103 号	平成 26 年度佐渡市歌代の里特別会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 104 号	平成 26 年度佐渡市すこやか両津特別会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 105 号	平成 26 年度佐渡市病院事業会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 106 号	平成 26 年度佐渡市水道事業会計補正予算（第 1 号）について	◎
議案第 107 号	平成 25 年度佐渡市一般会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 108 号	平成 25 年度佐渡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 109 号	平成 25 年度佐渡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 110 号	平成 25 年度佐渡市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 111 号	平成 25 年度佐渡市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 112 号	平成 25 年度佐渡市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 113 号	平成 25 年度佐渡市ケーブルテレビ特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 114 号	平成 25 年度佐渡市歌代の里特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 115 号	平成 25 年度佐渡市すこやか両津特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 116 号	平成 25 年度佐渡市五十里財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 117 号	平成 25 年度佐渡市二宮財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 118 号	平成 25 年度佐渡市新畑野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 119 号	平成 25 年度佐渡市真野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 120 号	平成 25 年度佐渡市栗野江財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第 121 号	平成 25 年度佐渡市病院事業会計決算の認定について	△
議案第 122 号	平成 25 年度佐渡市水道事業会計決算の認定について	△
議案第 123 号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第 124 号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第 125 号	小倉小水力発電施設機械建設工事請負契約の締結について	◎
議案第 126 号	佐渡市特別職の職員の給与の減額に関する条例の制定について	×
議案第 127 号	平成 26 年度佐渡市一般会計補正予算（第 5 号）について	○

賛否等の内訳 上表の賛否の分かれた議案（網掛け）について、議員別に賛否等を公表します。

議案等の番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ				市政会			地域政策研究会		自由三クラブ			民主党		日本共産党		政友会				無会派		議長 根岸勇雄	
		賛成	反対	駒形 信雄	金田 淳一	浜田 正敏	佐藤 孝	大澤 祐治郎	竹内 道廣	加賀 博昭	渡辺 慎一	祝 優雄	金光 英晴	猪股 文彦	金子 克己	村川 四郎	近藤 和義	中川 直美	中村 良夫	坂下 善英	笠井 正信	中川 隆一	岩崎 隆寿	山田 伸之	荒井 真理		大森 幸平
85	可決	20	3	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	可決	15	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
126	否決	11	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
127	可決	15	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対。なお、議長は採決に加わらない。

◆議会のうごき

月	日	内 容
7	25	議会報編集特別委員会
	31	議員全員協議会 各派代表者会議
8	6	議会報編集特別委員会
	19	庁舎整備等特別委員会
9	21	議会報編集特別委員会
	1	議員全員協議会
	5	議会運営委員会
9～30		第6回（9月）定例会
10	15	議員全員協議会
	16	姉妹都市行政視察 （～17日 東京都国分寺市議会）
	21	議会運営委員会
	23	第7回（10月）臨時会

9月定例会では
聴導犬も
傍聴しました。



◆行政視察来市状況

月	日	内 容
9	1	宮城県大崎市議会 （ジアスの取組、トキ保護と農業施策）
	3	熊本県議会（トキ保護）
	4	佐賀県議会（離島振興）
10	3	岡山県美作市議会（地域おこし協力隊、 U・Iターン促進事業、戦略官の登用）
	7	奈良県大和郡山市議会（若者定住促進事業） 岩手県陸前高田市議会（観光振興）
	23	宮崎県議会（世界遺産登録に向けた取組）

議会の傍聴にお越し下さい

議会の本会議は公開されています。議場の受付で住所・氏名などを記載していただくだけで、どなたでも自由に傍聴できます。お気軽にお越し下さい。

議場は佐和田行政サービスセンターとなりの佐渡中央会館内にあります。



編集後記

願地区の「賽の河原」付近の落石防止の網かけ工事（県単事業）の設計ミス等による工事費の増嵩を、正規の補正手続をせず2人の職員が他の予算を流用して、「随意契約」で行った不正事件が発覚した。

この予算案をめぐって、総務文教常任委員会（予算特別委員会）は、担当の「産業建設常任委員会」の網かけ工事予算の「意見」等を踏まえ、一般会計補正予算全部を否決した。

議会の手続としては、本会議採決、それでも否決のときは地方自治法176条により市長は10日以内に理由を示して「再議」の提案ができるが、今度のような異常事態（全て否決）については、議長の「議事指揮権」による地方自治法第115条の2による修正が考えられる。それは地方自治法第104条、105条（議長の委員会発言）による措置であるが、この度はそれを発動して、議会の予算案修正か、市長のその予算案取り下げかを、真正面から議論して、市長の取り下げで落ち着いた。

振りかえって、「願」網かけ工事予算案は「臨時議会」にゆだねられたが、誰も気付かなかった議長の「議事指揮権」での局面打開は大きな経験で、議長の総務文教常任委員会張りつけ是非かを問うことにもなった。

加賀博昭 記